



“Diversity”とは「多様性」という意味です。人と違う自分を認め、自分と違う人を受け入れる。1つの「同じ」を嬉しく思い、1つの「違い」を楽しめる。私たちの社会をカラフルなものにしてくれる「多様性」を、大切にしていきたいですね。このニュースレターは年3回（2, 5, 10月）に発行しています。過去ニュースレターは横浜 YMCA 英語学校のホームページからもご覧いただけます。

【多様性を受け入れる国、シンガポール】 Monica 先生

Singapore, a small island country with the size of Lake Biwa.

What makes Singapore special?

We have different races like Chinese, Malay, Indians and others. Regardless of race, language or religion, Singaporeans value harmony, and respect cultural diversity. Although there are many different cultures, our shared heritage and our common destiny unites.

Singaporeans are able to build a harmonious society because we recognize and value the importance of accepting and understanding one another.

The four official languages of Singapore are English, Mandarin, Malay and Tamil. English is the most common language used and is the language which unites the different ethnic groups. Children are taught in English as a first language at school but also learn a second language from kindergarten.



A multiracial, multicultural and multireligious heritage forms the backbone of the city's character.

The flower is our national flower “Vanda Miss Joaquim.”

【世界最大の花との出会い】のぞリーダー



みなさんは「世界で一番大きい花」を知っていますか？

マレーシアやインドネシアの熱帯雨林に生息する「ラフレシア」が世界最大と言われています。絶滅の危機にあるほど希少で、開花しても3~4日で枯れてしまうため「幻の花」とも言われています。

私は3年前、マレーシアのボルネオ島でラフレシアを見ることができました！身長153cmの私が、花びらの中にすっぽり入れそうなくらい大きかったです。

ちなみにラフレシアは、ハエの助けによって受粉するので、匂いもそれはそれは強烈なものでした…。

多肉植物の一種らしいのですが、根・茎・葉はなく、他の植物に寄生して花だけ咲かせるんですって！面白いですね。

私もラフレシアに負けじと、インパクトのある花を咲かせたいものです。

ちいさなお子様と保護者向け無料プログラム『オンライン子育て支援』

横浜 YMCA では、毎月数回、おうちにいながらスマートフォンやパソコンでお子様と一緒に

ご参加いただける無料のオンラインプログラムを実施しております。

英語遊びや体操、栄養士さんからのお話など、YMCA のノウハウを

ぎっしり詰め込んだ内容です。ご参加は単回でも毎回でも OK！

事前にお申込みいただき、お気軽にご参加ください。

対象は、0歳から3歳くらいのお子さまとご家族です！



英語遊びは Pui 先生が担当↑



6月19日（土）に行うユース世代を対象とした無料オンラインイベント

詳しくはこちら↓

『Youth Conference hosted by Yokohama YMCA～若者の社会参画について考える～』

の参加者を募集中です！「やりたいことがない」「社会のためになるって何？」そんなことを考えていたひとりの若者が、横浜・寿町でのボランティア活動を通して変わっていきました。そのお話を聞き、社会において若者ができることを一緒に考えます。



1 貧困をなくそう



寿町は、横浜中央 YMCA から歩いて15分ほどのところにあります。かつて寄せ場（日雇い労働者が仕事を求めて集まる場所）と呼ばれ、現在では仕事がほとんどなく、生活保護を受ける人が多くなり、「福祉の街」になりつつあります。ボランティアが中心となって、孤立しがちなドヤ（簡易宿泊所）に住む人々の健康面・文化面等生活全般に関わりをもち、野宿者が福祉を受けられるように手助けをしています。

毎週金曜日には炊き出しが行われています。（準備は朝8時～）興味のある方はスタッフ諏訪まで！